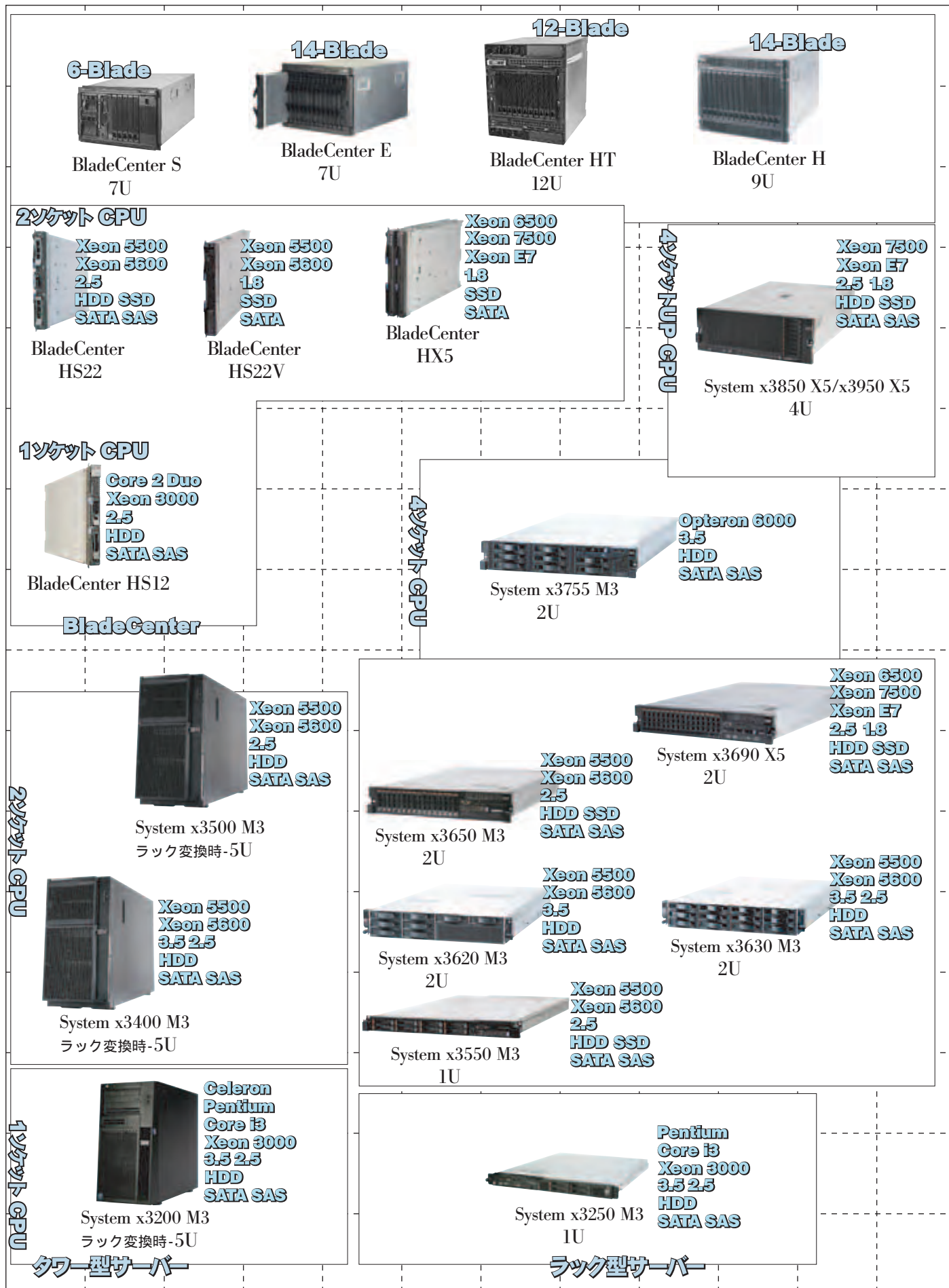


IBM System x/BladeCenter 製品の位置付け



機能面から見たサーバー選択の指標



モデル	タワー型サーバー			ラック型サーバー			
	System x3200M3 (7328)	System x3400M3 (7379)	System x3500M3 (7380)	System x3250M3 (4252)	System x3550M3 (7944)	System x3620M3 (7376)	System x3630M3 (7377)
リダント NIC	○	○	○	○	○	○	○
Light-Path診断機能 / 診断LED	○ ^{※2}	○	○	○ ^{※2}	○	○ ^{※2}	○ ^{※2}
リダント電源	○ ^{※1}	● ^{※1}	●		●	●	●
リダント・ファン			●		○	○	○
温度異常検知	○	○	○	○	○	○	○
電圧異常検知	○	○	○	○	○	○	○
ファン状況検知	○	○	○	○	○	○	○
ハード・ディスク PFA ^{※3} ※7	○	○	○	○	○	○	○
CPU, VRM, Memory PFA ^{※3}	○	○	○	○	○	○	○
FAN PFA ^{※3}	○	○	○	○	○	○	○
ASR ^{※4}	○	○	○	○	○	○	○
プロセッサ自動縮退機能 ^{※5}		○ ^{※6}	○ ^{※6}		○ ^{※6}	○ ^{※6}	○ ^{※6}
UEFI準拠	○	○	○	○	○	○	○
Active Energy Manager ^{※8}							

○:標準装備/標準サポート、●:オプションによりサポート

モデル	ラック型サーバー				BladeCenter		
	System x3650M3 (7945)	System x3690X5 (7148/7147)	System x3755M3 (7164)	System x3850X5 x3950X5 (7145/7143)	Blade Center S 8886	Blade Center E 8677	Blade Center H 8852
リダント NIC	○	○	○	○			
Light-Path診断機能 / 診断LED	○	○	○	○	○	○	○
リダント電源	●	●	●	○	●	○	○
リダント・ファン	○	○	○	○	○	○	○
温度異常検知	○	○	○	○	○	○	○
電圧異常検知	○	○	○	○	○	○	○
ファン状況検知	○	○	○	○	○	○	○
ハード・ディスク PFA ^{※3} ※7	○	○	○	○			
CPU, VRM, Memory PFA ^{※3}	○	○	○	○			
FAN PFA ^{※3}	○	○	○	○	○	○	○
ASR ^{※4}	○	○	○	○			
プロセッサ自動縮退機能 ^{※5}	○ ^{※6}	○ ^{※6}	○ ^{※6}	○ ^{※6}			
UEFI準拠	○	○	○	○			
Active Energy Manager ^{※8}					○	○	○

○:標準装備/標準サポート、●:オプションによりサポート

- ※1 冗長電源モデルのみ。
- ※2 診断LEDのみ機能します。
- ※3 PFA (Predictive Failure Analysis)障害予知機能:
色々な状況を監視し、総合的に判断し、24時間から48時間以内に障害が発生する可能性が高いことを事前に通知するものです。
PFAの警告は、導入されているRAIDコントローラーがサポートしている管理ツールやIBM Directorで検出可能です。
- ※4 Automatic Server Restart (ASR): OSのハング・アップを検出し、自動的にリスタートする機能。
- ※5 システムがSMP構成のとき、一つのプロセッサに障害が発生すると、そのプロセッサを切り離してシステムを自動的に再起動する機能。
- ※6 システム装置をSMP構成にした場合に機能します。
- ※7 SAS HDDのみ。
- ※8 モニタリングのみ。Active Energy Managerは、IBM Director上よりサーバーに標準搭載された専用チップを使用し、実際の消費電力と温度をリアルタイムで監視できます。詳しくは以下のURLをご参照ください。
<http://www-304.ibm.com/jct03004c/systems/management/director/extensions/actengmrg.html>